

第2回 横浜市港北公会堂指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	令和5年7月31日(月)10時00分～11時40分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	長田委員長、関委員、小堀委員、村上委員、平賀委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者2人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 「港北公会堂運営管理グループ」を横浜市港北公会堂第4期指定管理者の指定候補者として選定する。 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事 録	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(1団体:港北公会堂運営管理グループ)について、15分間のプレゼンテーション後、10分間の質疑応答を実施した。</p> <p style="text-align: center;">～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p>(委員) 自主事業について、これだけの種類の自主事業を実施していることを知らなかった。もっと広く周知を行った方が良い。公会堂前の掲示板も見ない人は見ないと思う。もっと興味を持たせるような広報が必要なのでは。</p> <p>(応募団体) 広報もできる範囲で行っているが、今後はマスメディアなど色々なチャンネルに対し発信していきたい。現在はSNSと広報よこはま港北区版に掲載しているが、利用者への声掛けが不足しているのではと感じているので、しっかり行っていく。今後はぜひ町内会とも連携していきたい。</p> <p>(委員) 町内会は高齢者が多く、ホームページやSNSなどは難しい。紙媒体が必要。地域に発信すると良い。</p> <p>(委員) 令和6年度の収支予算書のうち、本社経費として計上されているものがある。どのようなことに使用されているのか伺いたい。また、公会堂で働く社員が本社の業務を行うことはあるか。</p> <p>(応募団体) 収支予算書における全体の収益のうち10%を計上している。本社経費の内訳については、本社で必要な家賃や減価償却といったものや、自主事業を開催する際は、本社から応援が来る場合があり、必要となる交通費等の費用などが含まれている。公会堂の現場で働く社員は本社の業務をしていないため、本社の人間が公会堂に行って業務を行っている。</p> <p>(委員) 様式2のP2の基本方針と達成目標に関し、自主事業について初めて知った。この自主事業は港北区とは全く別での実施事業と考えていいのか。</p> <p>(応募団体) 毎年自主事業の内容を含んだ事業計画書を作成し、区に提出している。そこで記載された自主事業については必ず広報よこはま港北区版に掲載し周知を</p>

行っている。港北区の事業ではなく、公会堂の事業として発信している。  
 (委員) 色々なホールの管理実績があるようだが、港北区ならではの実感することはあるか。  
 (応募団体) 自主事業を多く実施しているが、他の場所に比べ集客が多い。無料のものは200人以上来る。多世代が参加いただいている印象。場所柄として、文化芸術に興味がある方が多い印象。子育て世代も多く参加されていて、情操教育に力を入れていると感じる。

## 2 指定候補者の選定

- (1) 過去3か年の貸借対照表・損益計算書から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。
- (2) 事務局から、応募団体について、市税納付状況の確認及び暴力団排除措置に伴う神奈川県警察への照会の結果、いずれの資格要件も満たしていることを報告した。また、応募団体が現指定管理者であるかどうか、「市内中小企業又は地域住民を中心に設立された団体」であるかについて報告した。
- (3) 審議時、一度仮採点した後に、各委員が仮採点結果の考え方を表明し、その結果を踏まえて本採点し、集計することを確認した。
- (4) 採点結果  
 委員による採点を集計した結果、最低基準点465点を満たしており、次のとおりとすることを決定した。

	団体名	採点結果
指定候補者	港北公会堂運営管理グループ	612点

- (5) 区長への報告書の作成、議事録の確認は、議長に一任することを確認した。

そ の 他  
 特 記 事 項